

## H26. 11議会報告会回答まとめ（民生常任委員会）

会場	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
<b>病院事業（駐車場問題）</b>		
大貫	大崎市民病院本院に通じる道路は渋滞を起こしているが、解決策はあるのか。	渋滞緩和策としてお見舞いなどの面会時間を午後からとするよう取り組みが始まった。また、パレットおおさきの駐車場を活用する案などが検討されている。
東大崎	新病院の駐車車両と送迎車両のさばきが不十分。混雑緩和のため、玄関前車レーンの工夫が必要ではないか。	混雑要因には見舞い者や見学、食事といった方の車もあるよう。通行レーンは現場で柔軟な対応に努めていると聞く。
東大崎	新病院駐車場の利用者で、診療後に止めた車を探せず難儀された方がいる。高齢者や障害等さまざまな方への配慮として、駐車場のブロックナンバー仕分けやカラー仕分け等をすべきでないか。	誘導員を配置しているが対応の質を高める必要を感じる。ポールの標記などに検討も必要と思う。歩行困難者などは誘導員に声がけてほしい。
東大崎	病院駐車場の運営について、他所の大規模駐車場運営の先進事例を学ぶべきだ。	駐車場の課題について、現在問題点の総括中。対応策についてはもう少し時間が必要なところである。
<b>病院事業（運営）</b>		
三本木	地域の婦人の具合が悪くなり、救急車に来ていただいた。その時、救急隊員が受け入れ病院を必死に探したところ、7カ所目で矢本の病院にようやく了解をいただいた。せっかく市民病院ができたのだから、迅速に対応できる救急医療体制をしっかりと整えてほしい。	人命に関わる重大事。指摘を重く受けとめ、なぜこういうことが起きたのかを早急に調査し、報告するとともに、再発防止に向けて取り組むように関係機関に申し入れる。
東大崎	新市民病院が開院しているが、新患は診ないとの話があり、市民として納得しがたい。病院事業費の県北自治体の負担割合はどうなっているのか。大崎市民を優先すべきだ。	新病院の担う使命、役割、機能、運営方針など説明し、理解を求めた。
鹿島台	鹿島台分院の医師派遣と診療体制も含め、議会で決議があったとの事で感謝している。今後も地域包括ケアプランや、地域医療への理解が深まるよう議論してほしい。	議会では、鹿島台分院問題を通じて地域医療体制について活発に議論した。平成26年9月に開催した定例会では、大崎市民病院事業における研修医定着の促進と医師確保の努力、医療体制充実と本院との医師交流による各分院への医師配置及び診療体制の充実を強く求める旨の「大崎市民病院事業による各分院への医師配置と診療体制の充実を求める決議」を全会一致で可決した。地域包括ケアプラン等も含め、分院や診療所などの地域医療を今後も注視していく。
<b>高齢者福祉、介護保険</b>		
大貫	老人会に市から39,000円の補助金をいただいているが、食料費などに支出できないため使い道に大変苦慮している。柔軟に使える補助金にしてほしい。また、老人会の代表や会計、事務局になる人がおらず、11行政区中3行政区が解散している状況だが、実態を知ってほしい。	補助金の性質上、用途は制限されているのが現状。補助金の内訳は国県市でそれぞれ1/3だが、国県の要綱でも食料費として使用できないことになっている。なお、市単独事業で実施している自治体もあると聞く。他補助金も含め食料費としての支出は市民理解が得難い側面もあるが、所管委員会で補助金適正化を念頭に調査したい。会計や事務局の人材不足については、市への要望書提出や事務の一部（監査等）を連合組織で実施することも検討の余地ありと考える。

会場	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨
松山	ボランティアでひとり暮らしの家に弁当の配達をしている。ひとり暮らしの人は話をしたいようだ。また、弁当の申し込みが出来ない人もいる。ひとり暮らしの実態調査は。	市はひとり暮らしの方などの把握に努めている。高齢者見守り対策室の設置を含め、見守り事業を強化する方向で議会では議論をしている。
田尻	地域内公共交通の「くるくる号」は利用方法に問題があるのではないか。また、福祉タクシー助成制度について教えてほしい。	田尻地域内公共交通「くるくる号」の運行手法は、全域予約型乗合タクシーとして田尻公共交通運営委員会で協議されている。福祉タクシー利用助成制度では障害者手帳を交付されているなど利用条件があり、福祉窓口で相談を受けられたい。
鹿島台	自宅介護への対応を今のうちから考えておくべきと思うがどうか。	介護保険法改正により要介護1と2は市の事業に移行し、厳しい事業会計運営となると見込まれている。第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画が現在策定中なので、取り組みに努めるよう求めている。
福浦	高齢者福祉施策として、介護をする人材の育成及び在宅介護で世話をする方への支援策が必要と思う。	現在、第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に向けた協議が行われており、支援策に対する議会の意見を反映するよう求めている。
<b>障害者福祉</b>		
鹿島台	昨年、鹿島台地域にある障害者施設の収益金を、鹿島台総合支所市民福祉課の担当職員が横領した事件があった。二度と繰り返さないように調査を実施してほしい。また、障害者施設も定期的に巡回、視察し、障害者自立支援の実態も調査すべきでは。	市職員の不正、横領には厳正に対処しなければならず、再発防止に努めるよう議会からも要請している。なお、障害者自立支援のあり方や施設の巡回等は、議会に何ができるかを所管委員会で議論していく。
<b>児童福祉</b>		
高倉	小学校が統合された場合、学童保育も学校とセットで考えられているのか。	学童保育について、子育て支援3法改正によりこれまで1年生から3年生までであった対象が6年生までに拡大される。統合後の話は出ていないが、地域から学校をなくすとますます人口減少に拍車がかかるのではないかと、一方子供の教育を考えると統合が必要でないかといった両論がある。地域で保護者も含め十分話し合うことが重要と考える。
<b>その他一般</b>		
中山	鬼首地区に三菱地所が入ってきたとき、若い人に聞いた。教育と医療が大事。	意見として伺う。
中山	移住する人は不便も承知、難しいことだが、つくり上げていくことが大事。医療はできる限り頑張ってもらいたい。	意見として伺う。